◆経営・組織論

1. 経営理念：

企業の（　　　　　　　　）や（　　　　　　　　）を明確にする。

1. BCP（Business Continuity Plan / 事業継続計画）：

災害や**緊急事態**が発生した際に、企業が（　　　　　　　　）に絞り、その業務の実施手順を整備する。

1. HRTech（Human Resources Technology）：

（　　　　　　　　）にAIやIoTなどの**テクノロジー**を使う。

1. アダプティブラーニング（Adaptive Learning）：

**学習者一人一人**の学習進行度や（　　　　　　　　）に応じて、最適なコンテンツを提供する。

1. デジタルトランスフォーメーション（DX：Digital Transformation）：

ITを活用し、戦略的に（　　　　　　　　）の刷新（新しく良いものに変える）や、新たな（　　　　　　　　）を生み出す。

1. IPO（Initial Public Offering）：

（　　　　　　　　）を目的に、企業の未公開の（　　　　　　　　）を新たに公開すること。

1. 第4次産業革命（The Fourth Industrial Revolution）：

**インターネットやA**Iを活用して，サービスの（　　　　　　　　）と質の向上を図る。

1. CTO（Chief Technology Officer）：

（　　　　　　　　）に直接の責任を持つ役職。

◆業務分析・データ利活用

1. ABC分析（**ABC Analysis**）：

分析対象（商品、顧客、業務など）を重要度や貢献度に応じて、**（　　　　　　　　）のグループ（ランク）に分けて**分析する。

1. A/Bテスト（A/B Test）：

**2つの異なるバージョン**（A案とB案）を比較し、どちらがより効果的かを検証する手法。

1. パレート図（Pareto Chart）：

データを**重要度の高い順**に並べ、問題や要因の優先順位を視覚的に把握するためのグラフ。

（　　　　　　　　）と（　　　　　　　　）を使う。

1. バブルチャート（Bubble Chart）：

**3つの変数（要素）**を視覚的に表現する。X軸、Y軸、（　　　　　　　　）で3つの値を同時に表す。

1. 自然言語処理（Natural Language Processing: NLP）：

自然言語処理とは、コンピュータが（　　　　　　　　）、（　　　　　　　　）、（　　　　　　　　）などを通じて、人間の言葉を理解・生成・活用する技術です。

1. 主成分分析（Principal Component Analysis: PCA）：

多くの項目（変数）から成るデータの中から（　　　　　　　　）を抜き出し、データを簡潔にまとめる方法。

1. データサイエンティスト（Data Scientist）

（　　　　　　　　）などの手法を使ってビッグデータを解析し、ビジネスに活用するための新たな知見を得る専門家。

1. 回帰分析（Regression Analysis）

例えば「アイスクリームの売上」と「気温」のように、2つのデータの関係を調べ、1つの値からもう1つの値を予測する方法。